

三島森田病院

第13回 ホスピタリティ コンサート

音楽療法として、言葉を介さず一流の音楽により、心と身体の調子を整え
感動を体験することを目的としてコンサートを開催します

堀田 万友美

Piano Concert

Program

J.シベリウス：もみの木 op.75-5

B.バルトーク：ルーマニア民俗舞曲

1.棒踊り 2.帯踊り 3.足踏み踊り 4.角笛の踊り 5.ルーマニアのポルカ 6.早くて細かいステップの踊り

L.v.ベートーヴェン：ピアノソナタ第14番嬰ハ短調op.27-2「月光」

R.シューマン：子どもの情景op.15

1.見知らぬ国から 2.不思議なお話 3.鬼ごっこ 4.おねだりする子ども 5.満足 6.重大な出来事
7.トロイメライ 8.炉端で 9.木馬の騎士 10.きまじめ 11.こわがらせ 12.眠る子ども 13.詩人のお話

F.リスト：巡礼の年 第3年より「エステ荘の噴水」



堀田 万友美 / ピアノ

2025.12.8(月)

開場 13:30 開演 14:00

三島市民文化会館

ゆうゆうホール 大ホール

入場無料 全席自由 事前申込等不要です

入場対象者 乳幼児を含めどなたでも入場できます

◎お問い合わせ先 三島森田病院 TEL：055-986-3337



■ 主催 三島森田病院 ■ 共催 三島市

三島森田病院の森田療法とは

森田療法は、東京慈恵会医科大学 精神科の初代教授であった森田正馬（もりたまさたけ）が104年前に創始した神経症（不安症・強迫症等）に対する日本発の精神療法であり、現在の当病院の理事長・院長 森田正哉はその曾孫にあたります。本療法は薬物によらず症状を「あるがまま」に受け入れることで健康な日常生活を回復させていきます。本療法では、神経症の根底にある不安や死の恐怖は自然な感情であり、より良く生きようとする人間本来の欲望（生の欲望）と表裏一体の関係にあるものと理解します。にもかかわらず神経症の患者さんは、自己の不安を排除することに努力を傾ける結果、かえって不安が増幅し症状にとらわれていきます。本療法の核心は、このようなとらわれを打破することであり、太陽の光を浴び土に勤しむ農業や工芸を通じて生活のリズムを取り戻し、患者さんが自己の不安も生の欲望も自然な人間性として受容し、「あるがまま」の自己を現実にならしていかれるよう治療していきます。尚、当初は神経症が対象とされておりましたが、ストレスの多い現代社会において薬物療法では限界のある難治といわれる多彩な症状に対しても、病態によっては本療法の効果が確認されております。

出演者 Profile

堀田 万友美（ほった まゆみ）ピアノ



東京芸術大学を経て、同大学院修士課程修了。オランダ政府給費留学生としてアムステルダム音楽院に学び、post graduate course 修了。

東京文化会館主催 "新進音楽家デビューコンサート" のほか、大学卒業時に読売新人演奏会、大学院修了時にベーゼンドルファージョイトリサイタル等に出演。これまでに日本、オランダ、ドイツ、イタリア各地にてソロ、室内楽、歌曲伴奏等の演奏活動を行う。

都内では、東京文化会館や津田ホールにてリサイタル、また柏市内にて「作曲家シリーズ」全8回を開催。2010年4月東京文化会館小ホールでのリサイタルは「音楽の友」誌上 "評論家の選んだコンサートベストテン" に選ばれた。

現在は、国立音楽大学講師として指導にあたるほか、新たに東欧・北欧の民俗音楽の研究と演奏に勤しんでいる。

- ・ 第14回公演 : 2026年 3月23日(月) ピアノ ソロ (長泉町 ベルフォーレ ホール)
- ・ 第15回公演 : 2026年 6月 2日 (火) ピアノ ソロ (三島市民文化会館 大ホール)